

個票 23 土壌化学性の改善による外来植物の生態的防除 [森 4(1)①2-2]

(2011年作成)

配慮の視点	外来生物への対策	配慮項目	侵略的外来生物の排除・抑制
配慮事項	侵略的外来生物の侵入・拡散防止		
配慮事例	外来植物の拡散防止と効果的な緑化事業		
内容	<p><b>●土壌化学性の改善による外来植物の生態的防除</b></p> <p><b>【解説】</b>                  外来植物が好む土壌環境（化学性）の改良により、外来植物の繁茂を防ぎ、森林造成を目指す対策を開発・実施しています。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b>                  ナルトサワギクやセイタカアワダチソウなどのキク科の外来植物が好む生育環境は、降雨の少なく中性～弱アルカリ性の土壌であり、日本特有の降雨量が多く酸性に傾いた森林土壌で生育することは少ないことから、この特性を利用して、低コストの植生基盤材により土壌の化学性を低pH・低塩基飽和度に改良して、外来植物の繁茂を防ぎながら、森林造成を目指しています。</p> <p><b>【事例】</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【場所】</b>                      兵庫県南あわじ市灘山本</p> <p><b>【環境配慮の内容と方法、工法】</b>                      ナルトサワギクの繁茂を抑制する土壌化学性の改良工法の開発・試験施工・ナルトサワギクを刈り取った斜面において、低pH・低塩基飽和度の植生基盤材にススキなどの種子を混入して試験施工した結果、ススキなどが繁茂し、ナルトサワギクの発生が少ないことが確認でき、土壌改良工法により、在来種の植生遷移が期待されると考えられる。</p> </div>		
			
参考資料	1 「特定外来生物法に配慮した緑化工の試み」第50回治山研究発表会 兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所治山課・国土防災技術（株）		